

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年 3月 1日

事業所名 スタジオそら大岡山

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6	0	2つの訓練室を有効活用しています。	フィードバックの時間など、複数のお子さんで密な状態にならないように対応しています。
	② 職員の配置数は適切であるか	0	6	割り振りを工夫し、原則個別体制、必要に応じて補助をつけ2名体制にしています。	人員配置基準を満たしています。スタッフの配置などを工夫し、より安全管理に努めていきます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	今後も視覚支援の充実に取り組んでまいります。	お子さんの発達段階や特徴に応じて、よりきめ細かい視覚支援ツールを増やしてまいります。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	6	0	コロナ禍の事情にも配慮しながら、最低でも昼と夕方の2回の清掃・消毒を実施しています。	フィルター関連などの清掃をより小まめに実施することで、衛生面をさらに向上させてまいります。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	6	0	昼礼、終礼の時間を中心として、課題を発見して検討する機会を増やしております。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	6	0	保護者様のさまざまなご意見を職員全員で共有することで、日々の療育に生かすように配慮しております。	保護者からのさまざまなご意見をお伺いする機会を増やしてまいります。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	ホームページにて公開しております。	評価の結果を踏まえて、改善に向けたミーティングをさらに増やしてまいります。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6	実施しておりません。	今後、検討してまいります。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	4	コロナ禍で研修が難しい事情があるため、社内の研修動画などを活用して学びの機会を確保しています。	研修に参加しやすいような職員の勤務ソフト作成や、研修成果の共有をはかるミーティングをさらに増やしてまいります。
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	職員一人ひとりの小さな気づきも記録化することで、アセスメントの精度を高めていけるように配慮しています。	支援計画作成にあたって、職員全体で参加するミーティングをさらに増やしてまいります。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	状況を判断する際には、標準化されたアセスメントを都度確認するように配慮しています。	アセスメントツールの扱い方について、職員全体で学ぶ機会をさらに増やしてまいります。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	保護者のご要望をお伺いして支援方針に反映させていく機会を重視しています。	「家族支援」「地域支援」には支援が行き届いていない部分が多いのが現状です。社内検討を進め、引き続き支援の充実化を図ります。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	支援プログラム作成時に、都度確認を習慣化しています。	支援計画の内容を具現化するためのプログラムのさらなる拡充をはかってまいります。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	2	4	準備時間で、可能な限り、意見交換の時間を重視しています。	定期的なミーティングを設定してまいります。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	朝礼屋礼にてアイデアを交換する時間を重視しています。	「目標」「狙い」に立ち返ってプログラムを練り直すミーティングを増やしてまいります。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	個別活動を中心としていますが、休日や長期休み期間に集団活動の機会を設け、適宜ご案内を行っています。	ニーズを把握し、集団活動の幅を広げられるよう検討を進めます。引き続き、支援の充実化を図ります。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	朝礼屋礼の時間を活用しています。	職員間の役割分担で偏りが生じないように、業務記録を確認してまいります。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	終礼の時間を活用しています。	懸念事項などを共有しやすい記録を重視してまいります。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	準備と片付け作業を職員全員で協力・分担することで、職員の記録作業の時間確保に努めています。	記録の内容を職員全員が共有して今後の方針を確認する機会を増やしてまいります。
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	スケジュール管理を重視しています。	より広く職員が参画できるよう、より綿密なスケジュールリングを行います。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	0	6	今期は未実施でした。	今後、保護者様及び相談支援事業からのご要望に応じて、担当者会議に参加する機会を増やしてまいります。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1	必要に応じて連携を図っています。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	6	該当の利用児がありません。	該当の利用児がありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	6	該当の利用児がありません。	該当の利用児がありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	保護者さまのご要望に応じて、関連機関と情報を共有する機会を設けております。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	保護者様のご要望に応じて、就学支援シートの作成などを実施しております。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	6	今期は連携する機会がありません。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6	今期は交流の機会がありません。	今後、必要に応じて、交流の機会について検討してまいります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	6	今期は数回参加することが出来ました。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	毎回の活動後のフィードバック時間を有効活用しています。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3	可能な範囲内で家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等を実施しています。	社内で検討を進め、必要に応じて研修等に参加し、知識・スキルを身に着け実施していきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	入会手続き時に説明を実施しています。	入会後も、必要に応じて、定期的に説明する機会を検討してまいります。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	ガイドラインを都度確認しながら実施しています。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	毎回の活動後のフィードバックの時間を活用しています。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6	今期は実施しておりません。	保護者様のご要望に応じて、実施を検討してまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	相談窓口を設置し、掲示しています。相談や申入れがあった場合は迅速かつ適切な対応に努めています。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3	会社全体での会報をメールと書面にて配布しております。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	朝礼屋礼終礼時に、都度確認しています。	フィードバック時の距離に留意します。個人情報が記載された書類に関しては十分に取り扱いに注意いたします。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	視覚支援のツールを活用した意思疎通を重視しています。	保護者様との面談時にホワイトボードなどを活用して、情報共有しやすい環境づくりに努めてまいります。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6	そらコンサートを実施しています(今年度はコロナウイルスの影響により中止)	引き続き、支援の充実化を図ります。

非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	職員全員で研修を行いました。	保護者様に定期的にお伝えできる機会を検討してまいります。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	避難訓練を実施しています。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	「フェイスシート」などの書面で保護者様に確認させていただいております。	保護者様に定期的を確認して、お子様に関する情報更新をはかります。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	「フェイスシート」などの書面で保護者様に確認させていただいております。	保護者様に定期的を確認して、お子様に関する情報更新をはかります。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	記録の内容を毎日の終礼時に共有しています。	都度、事例を共有し、対応方法も含めた検討を行っております。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	職員全員で研修を実施しています。	定期的を確認できる機会をさらに増やしてまいります。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	1	職員全員で研修を実施しています。	定期的を確認できる機会をさらに増やしてまいります。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。